

第3回名寄市保健医療福祉推進協議会 障害者部会（顛末）

日 時： 令和5年11月29日（水）  
18時30分～19時10分  
場 所： 名寄市役所4階 大会議室

【出席者】 委員4名

【事務局】 健康福祉部長、社会福祉課長、障がい福祉係長、障がい福祉係主事補

1 開会【課長】

2 会長挨拶【部会長】

3 協議事項【司会：部会長】

・報告第1号 意見交換会について

事務局から、意見交換会について説明。【障がい福祉係長】

【委員A】

「居住」をテーマにしたグループワークの【必要なところ】

・大学生を活用したグループホーム（大学生のGHでの就業について一部課題あり）とは  
どういうことでしょうか？

【事務局】

グループホーム支援員のアルバイトとして、大学生を活用するという意見が出されたのですが、深夜の活動になったり男女別でグループホームが分かれていたりするため、検討が必要な部分もあるということです。

【部長】

大学のほうで、大学生は深夜バイトが禁止されているので、課題もある。

【事務局】

大学生にとっては、バイトをしながら勉強にもなるという良いところもある。

【委員B】

「その他」・養護学校が市内になく、近隣の美深や鷹栖までの移動に課題のある家庭への支援が必要。

→名農キャンパスに養護学校を作っては。

名寄市立大学生が地元で実習できる。市外からも利用者が集まる の記載で、  
子どもが年々減少している中で、養護学校を作っても生徒は入学するのか？

また、名農キャンパスに養護学校を作ることをどうやってアピールするのか？

名寄にできたら美深の人は複雑だろう。

**【事務局】**

意見交換の中で、現在使用されていない、名農キャンパスをどう活用するかという話題になり、例えばという話で意見がありました。

**【部会長】**

鷹栖は遠いから、名寄にあると良いなという意見も時々あります。

・協議第1号 計画の標記について

事務局から、第7期名寄市障がい福祉実施計画の標記と併せて、第1期名寄市障がい児福祉実施計画の追加標記について説明し、協議事項として提案した。

意見は特になく、追加標記について了承を得た。

・協議第2号 第7期名寄市障がい福祉実施計画の素案について

32ページ◎ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」の普及・啓発、33ページ◎「ボッチャ」などのユニバーサルスポーツの啓発活動 と記載があるが、ボッチャ以外にユニバーサルスポーツは何があるのか？

**【事務局】**

ユニバーサルスポーツとは車いすバスケットなど、障がいの有無、性別に関係なくできるスポーツであり、スポーツを通じて一つになれるような名寄を目指したいという主旨です。  
(サッカー、スキーなど)

**【委員A】**

33ページ。「さらに、デジタル化がすすむ中で、誰も取り残されることがないように配慮していきます。」とう記載で、もう少し優しい言い方はないでしょうか？言いたいことはわかるのですが。前向きな意味合いがとれる文言で表現したほうが良いと思います。

**【部会長】**

事務局のほうで、検討・微修正のほどよろしくお願いします。

・4 その他

今後のスケジュール

今後のスケジュール、ならびに、文言の微修正について了承を得た。

・5 閉会 **【部会長】**